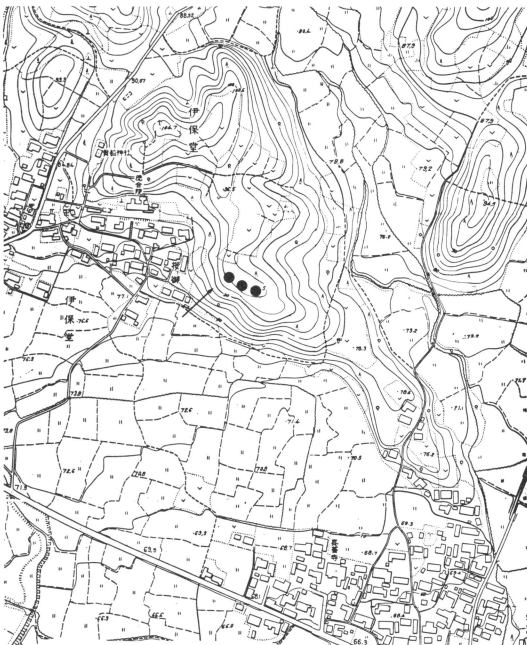


## ねがわ 根川遺跡

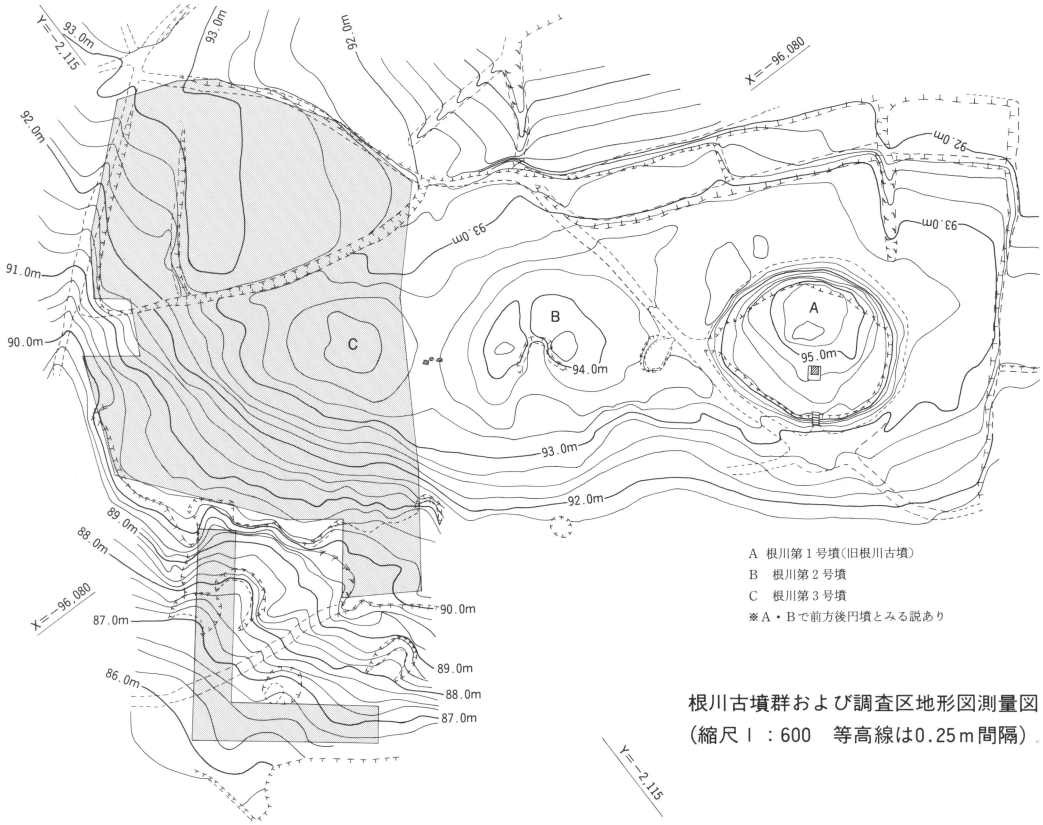
**位置・経過** 遺跡は愛知県豊田市東保見町根川地内の丘陵上に位置する。調査地は根川第1・2号墳の西側にあたり、眼下には古墳の出現期の遺跡として著名な伊保遺跡を望む。

今回の発掘は一般県道加納・東保見線建設に伴う事前調査として実施したものである。調査の結果、以前より古墳の可能性が指摘されていた丘陵頂部、根川第2号墳西隣の高まりが古墳であることが確認され「根川第3号墳」と命名されたほか、丘陵斜面において表土層および流土中より須恵器・埴輪・灰釉陶器・中世陶器片が近代の陶磁器片に混じって出土したが、上記の古墳以外の遺構は認められなかった。

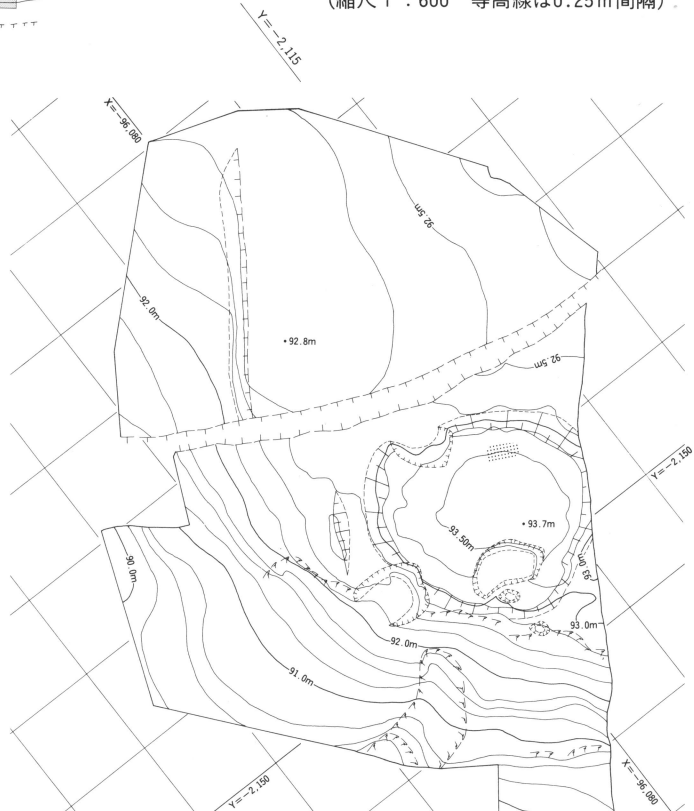
**根川第3号墳** 比較的平坦な丘陵頂部の南端に位置し、眼下の現水田面との比高差は約20mをはかる。墳丘の大半は流失し、原形はかなり損なわれている。現状では径13mほどの円墳とみられるが、一部調査区外となる東部は墳丘裾が直線的で方墳の可能性もある。西側で周溝（幅3.0m、深さ0.3m）の一部が検出された。主体部はすでに消失しているが、墳丘中心より北へ著しく偏った地点で簡易な埋葬施設とみられる土坑（長さ1.2m、幅0.6mほど、舟底状の底に薄い粘土層・炭化物層が認められる）が検出された。遺物としては墳丘上（東側）から須恵器片（器台・甕・瓶類）がまとまって出土した。これらはいずれも6世紀中葉に比定されるもので、本墳の築造年代はそのころに求められよう。（北村和宏）



上：埋葬施設？（東から）  
左：調査地位置図  
（矢印調査地 ●印 根川古墳群）



根川古墳群および調査区地形図測量図  
 (縮尺 1 : 600 等高線は0.25m間隔)



右：根川第3号墳実測図  
 (縮尺 1 : 400 等高線は0.25m間隔)